

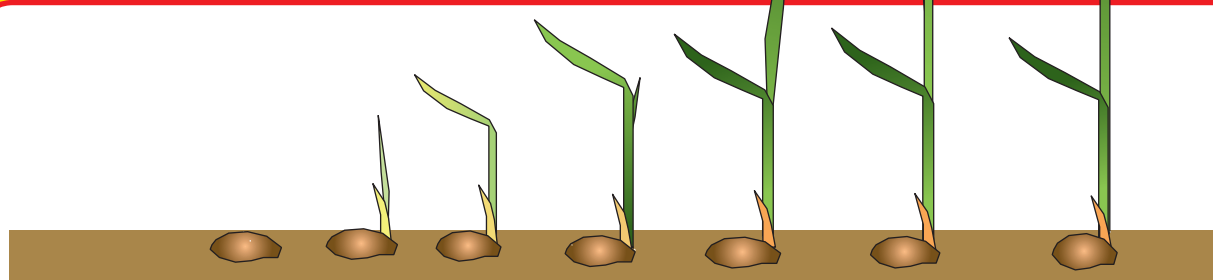


大黒様と米づくり

箱処理はこれで決める。

殺虫殺菌剤

# バイゲット® プラス® 粒剤10



生育ステージ 播種 出芽期 緑化期 硬化期 移植

処理時期 処理適期 (1.5葉期以降)

処理時期が広いので忙しい移植時の作業を分散できます。

**1.5葉期以降が処理適期です。** (適用病害虫によっては使用時期が異なる場合があります。)

# 水稲育苗箱専用 殺虫殺菌剤

# バイゲット® プリンス® 粒剤10



有効成分：チアジニル 12.0%  
フィプロニル 1.0%

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

### 病害防御機能増強とは？

バイゲットの有効成分チアジニルは、いもち病菌に対して直接抗菌力はありません。本剤を吸収した稲は、抵抗力が増加し、侵入したいもち病菌を細胞内に封じ込め、菌糸の進展を阻止します。これにより、いもち病菌の病斑の形成、蔓延を防ぎます。

## バイゲット

- 稲をいもち病にかかり難くする作用性(病害防御機能の増強)を有します。
- 葉いもち防除効果が高く、効果持続性にも優れます。
- 本田で発生するもみ枯細菌病や白葉枯病も同時防除できます。

## 特長

## プリンス

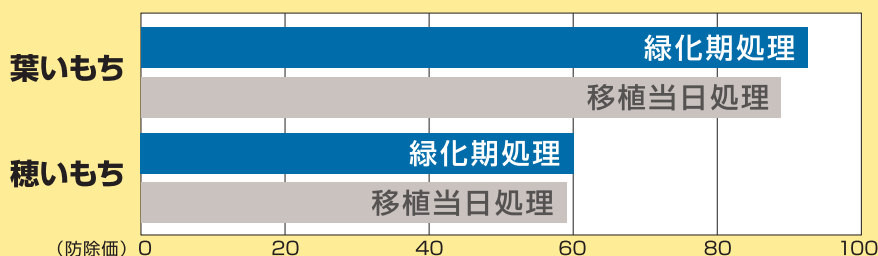
- 独自の作用機作をもつ殺虫剤で低薬量で高い殺虫効果を示します。
- 長期間にわたり高い防除効果を示すので、省力的かつ経済的です。

(2018年7月現在の登録内容)

### 適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イナゴ類 イネツトムシ 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	育苗箱の 上から均一に 散布する。	1回	3回以内 (育苗箱散布及び 側条施用は 合計1回以内、 本田での散布は 2回以内)
	もみ枯細菌病 内穎褐変病		移植当日				

### 試験成績 (いもち病)



日本農薬(株)総合研究所(2006年)

品種：キヌヒカリ 発生状況：中発生(葉) 少発生(穂)  
 移植：5月19日  
 処理：(緑化期)5月4日 調査：7月20日(葉) 8月26日(穂)  
 (移植当日)5月19日 箱当たり 50g

### 正しく安全にお使いいただくために

- ① 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
- ② イネ葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落とすしてから薬剤を散布してください。
- ③ 軟弱徒長苗、ムレ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じる恐れがあるので注意してください。
- ④ 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じる恐れがあるので、代かきは丁寧に行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- ⑤ さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- ⑥ フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- ⑦ 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ⑧ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑨ 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- ⑩ 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう管理に注意してください。
- ⑪ 散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●使用後の空袋・空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

1563 (18-7)